

【書式例 5-3】

平成 29 年度 指定管理者点検結果

施設名	玉野市児童発達支援センター
所在地	玉野市用吉 1186-1
指定管理者	名称 特定非営利活動法人 玉野つつじねっと 代表者 理事長 間庭 佳代子 住所
指定期間	平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日 (5 年間)
担当部課	玉野市社会福祉部 福祉政策課 電話 0863-32-5556 E-mail fukushi@city.tamano.okayama.jp

評価内容の総括	総合評価
施設管理、運営等の実施状況等、良好に指定管理が行われている。 医療ケア児についても、看護師等資格所持者を配置し積極的に対応してもらえるよう期待したい。	A

■ 「総合評価」の評価基準

- S (優 良) 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A (良 好) 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B (課題含) 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C (要改善) 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業務の実施状況	評価結果
<p>【適切な施設管理の履行】 協定書に従い、適切に施設管理を行っている。</p> <p>【法令等の遵守】 法令を順守して、利用者サービスの向上に努めている。</p> <p>【安全性の確保】 職員に対して安全意識の教育を行い、環境整備にも努めている。</p> <p>【財産の適切な管理】 遊具等の設備投資は必要に応じて行っている。</p> <p>【利用状況】 定員は充足している。</p> <p>【コスト削減への方策】 職員教育を継続的に行っている。</p>	A
② サービス向上への取り組み	評価結果
<p>様々な療育活動を等計画的に行い、外部専門機関等との研修や各会に参加し、ニーズ把握に努め、サービス向上の取り組みもできている。</p>	A
③ 団体の経営状態（経営の健全性）	評価結果
<p>収支状況は安定的である。</p>	A

■「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

＜事業報告書への記載項目＞

事業報告書は、次の例を参考に作成すること。なお、事業報告書はホームページ等により市民に公開しますので、各項目について、適宜図表などを作成し、分かりやすく記載すること。

I 業務の実施状況に関する事項

1 管理体制の状況

(1) 指定管理業務の実施体制図

※別紙1参照

(2) 人員配置状況

※別紙2参照

2 施設・設備の維持管理業務の実施状況

(1) 建物・設備の保守管理業務

- ・毎月の安全点検や常時点検で不都合が見つかった場合、業者に連絡して点検・修理などの対応をしている。
- ・空調設備については、年2回業者による点検整備を行っている。また、毎月エアコン周りの掃除をし、フィルターを洗い天日干ししている。
- ・空調設備は暖房と冷房の入れ替え時期に不調を起こしやすいため、常時声掛けをしたり、注意表示をしたりして、共通理解に努めている。
- ・「おべんきょうの部屋」の換気扇が作動していないことがわかり、すぐに業者に取替工事をしてもらい、福祉政策課にも報告をした。

(2) 清掃業務

- ・センター内外の美觀を損なわないよう、整理整頓・清掃に努めている。
- ・毎日の掃除…療育終了後、各教室と分担場所の掃除をする。

分担…幼児（教室・廊下・幼児用トイレ・指導訓練室⑤）

学童（教室・ホール・大人用トイレ・障害者用トイレ）

- ・玄関マットとモップは、契約業者のリースを利用している。
- ・害虫駆除…毎月、契約業者による害虫駆除を実施している。
- ・ごみ回収…毎週火曜日と金曜日に契約業者が回収くる。
- ・樹木の剪定・草取り…職員・保護者・ボランティアによって、隨時、剪定や草取りをしている。
- ・トイレットペーパー・石鹼等衛生消耗品は適宜補充している。

(3) 警備業務

- ・鍵の管理を厳重にし、毎日の施錠に注意している。特に玄関は防犯のため二重ロックにしてドアホンを取り付けている。

(4) 駐車場管理業務

- ・社用車（幼児児童の送迎用）の駐車場所を示すため、コーンを置いている。

特に荘内市民センターや荘内幼稚園の行事があるときは、事前に職員や保護者の駐車スペース確保のため、コーンやロープで準備している。

3 利用等の許可の状況

- ・国の定めに基づき、障害福祉サービス受給者証による個別契約を行っている。
- 契約後、玉野市に報告している。

II 施設の利用状況に関する事項

1 施設・設備の利用状況

- ・利用許可の総件数、各施設・設備ごとの利用許可（不許可）件数

※毎月のセンター利用状況については、月次報告『利用実績』『実施状況』を参照

III 自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

1 イベント名、内容、参加者数、収支状況 等

①「玉野市児童発達支援センター」（幼児）の行事

月 日	イベント名	内 容	参加者数	備 考
4/1（土）	入園式	入園式	幼児・保護者：56名	来賓4人
4/28（金）	健康診断①	第一回目健康診断	幼児： 22名	のうの小児科
4/28（金）	避難訓練	火災想定訓練	幼児・職員： 32名	
5/18（月）	避難訓練	地震想定訓練	幼児・職員： 32名	
5/20（土）	療育参観日	保護者参観日	幼児・保護者： 38名	
5/22～27	家庭訪問	家庭訪問（プラン・懇談）	保護者： 22名	
6/2（金）	歯科検診	歯科検診	幼児： 22名	谷歯科
6/13（火）	保護者会勉強会	就学に関する勉強会	保護者： 5名	
6/14（水）	避難訓練	火災想定訓練	幼児・職員： 34名	
6/24（土）	親子遠足	親子遠足（福山動物園）	幼児・保護者： 45名	
7/3～9/2	プール療育	プール療育（水遊び）	幼児： 22名	
7/22（土）	親子療育A	療育ばんだ組	幼児・保護者： 22名	
7/29（土）	親子療育B	親子療育こあら組	幼児・保護者： 22名	
7/31（金）	避難訓練	火災想定訓練	幼児・職員： 33名	
8/7～10	夏祭り週間	夏祭り行事	幼児： 22名	
8/21～26	自由参観	保護者参観日	幼児・保護者： 44名	
8/28（水）	避難訓練	地震発生想定	幼児・職員： 33名	
9/4～9	プラン懇談	懇談：評価・プラン	保護者： 22名	
9/13（水）	おでかけA	ファーマーズ	幼児： 22名	
9/14（木）	避難訓練	火災想定訓練	幼児・職員： 33名	

9/20 (水)	おでかけ B	ファーマーズ	幼児： 22名	
10/14 (土)	スポーツ大会	スポーツ大会	幼児・保護者： 89名	
10/18 (水)	おでかけ A	灘崎運動公園	幼児： 22名	
10/23 (月)	避難訓練	火災想定訓練	幼児・職員： 31名	
10/25 (水)	おでかけ B	灘崎運動公園	幼児： 22名	
10/31 (火)	ハロウィン	ハロウィン	幼児： 22名	
10/31 (火)	健康診断②	第二回目健康診断	幼児： 22名	のうの小児科
11/11 (土)	避難訓練	火災想定訓練	幼児・職員： 32名	
11/13~18	自由参観	保護者参観日	幼児・保護者： 44名	
11/30 (木)	ミニコンサート	ミニコンサート(大会議室)	幼児： 22名	ボランティア： 5名
12/4~9	プラン懇談	懇談：評価・プラン	保護者： 22名	
12/16 (土)	避難訓練	火災想定訓練	幼児・職員： 35名	
12/22 (木)	クリスマス会	クリスマス会(大会議室)	幼児・保護者： 35名	ボランティア： 7名
1/9 (火)	避難訓練	地震発生想定	幼児・職員： 37名	
1/13 (土)	もちつき大会	もちつき大会(大会議室)	幼児・保護者： 48名	
2/3 (土)	節分	豆まき	幼児： 22名	
2/10 (土)	物品購入会	新入園児物品購入会	保護者： 6名	園長・責任者
2/13 (火)	避難訓練	火災想定訓練	幼児・職員： 36名	
2/17 (土)	療育発表会	療育発表会(ホール)	幼児・保護者： 59名	
3/7 (土)	避難訓練	不審者対応訓練	幼児・職員： 32名	
3/10 (土)	入園説明会	新入園児保護者説明会	保護者： 6名	園長・責任者
3/19~24	プラン懇談	懇談：評価・プラン	保護者： 22名	
3/31 (土)	卒園・退園式	卒園・退園式	幼児・保護者： 18名	

②「玉野市児童発達支援センター」(放課後等デイサービス)の行事

月 日	イベント名	内 容	参加者数	備 考
4/3 (月)	療育開始日	平成29年度療育開始日	児童： 6名	
4/21 (金)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 9名	
5/13 (土)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 12名	
5/15~27	プラン懇談	懇談：評価・プラン	保護者： 63名	
6/10 (土)	支援学校在籍児保護者向け勉強会	先輩保護者からの講演、座談会	保護者： 10名	荘内市民センター
6/17 (土)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 11名	
7/13 (木)	避難訓練	幼児職員室出火想定	児童・職員： 13名	
7/22 (土)	勉強会	中学進学に向けての勉強会	保護者： 8名	産業振興ビル
7/24~31	お買い物活動	お買い物活動(百円ショップへ)	児童： 60名	
8/1~8/8	プール活動	プール(センタープール)	児童： 63名	

8/4～8/18	プール活動	プール（公共プール利用）	児童： 57名	カエルボート灘崎
8/22（火）	避難訓練	地震発生想定	児童・職員： 7名	
9/19（火）	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 12名	
10/6（金）	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 13名	
10/10～21	プラン懇談	懇談：評価・プラン	保護者： 63名	
11/11（土）	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 14名	
11/21～30	調理活動	調理活動（サンドwich・ピザトースト）	児童： 58名	
12/12（火）	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 10名	
12/25～1/6	公園活動	近隣公園、幼稚園園庭での運動	児童： 51名	横田公園・ 荘内幼稚園園庭
1/20（土）	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 8名	
1/27（土）	座談会	じゅんぶえいど（放デイ事業所）と合同での保護者座談会	保護者： 22名 (両事業所を合わせて)	産業振興ビル
2/20（火）	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 14名	
3/5～17	懇談	懇談：評価	保護者： 63名	
3/9（金）	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 9名	
3/28（水）	療育最終日	平成29年度療育最終日	児童： 6名	

IV 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1 利用料金の収入及び減免の状況

（1）利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額 等 ※非該当

（2）減免の総額、各施設・設備ごとの内訳、減免理由 等 ※非該当

2 管理に係る収支の状況

（必要に応じ詳細な収支報告書を作成すること）

※別紙3参照

V 自己点検結果

自己点検の方法、結果、改善方法 等

- ・安全点検表で危険個所等について、隨時点検や毎月の定期確認を実施した。
- ・職員による整備改善、または業者による修理を実施した。

VI 経費節減・サービス向上に関する取組み

荘内市民センターから配布された「経費節減のお願いについて」という文書を全員で確認し、省エネに努めた。

- ・電気代…毎月使用料・金額などを確認し、照明・エアコンの不要な場合は、こまめに消灯したり、張り紙をしたりして全員の関心を高め、省エネに努めた。

- ・水道代…毎月使用料・金額などを確認し、プール使用時期には、注水時、水道の閉め忘れについて注意喚起し、省エネに努めた。

VII その他

- 1 危機管理マニュアルの見直し（追記：身体拘束マニュアル）
- 2 防災に関する体制整備…『防災計画』・『東南海・南海地震防災規程送付書』の作成
- 3 保護者へのお知らせ『警報発令・自然災害対策について』配布
- 4 個人情報管理
 - ・幼児児童の個人情報に関するファイル・USB等は、鍵のかかる専用ロッカーに保管している。
 - ・個人のプライバシーに関する文書等の作成は、原則としてセンター内で行い、センター外に持ち出しをしない。
 - ・個人情報を他の目的で使用したり、他の目的のために個人情報を収集したりしていない。
- 5 利用者のニーズや要望を把握したり、センターでの取り組みを理解していただいたりするために、以下のことを実施している。
 - ・家庭訪問・プラン懇談・参観日・親子療育・勉強会
 - ・新入園児保護者説明会
 - ・年間行事について保護者にアンケートをとり、考察をまとめて配布している。
 - ・担任による毎日の連絡帳や送迎時保護者との話
 - ・保護者会・役員会・おやじの会における情報交換・交流活動

VIII 特記として

センターの開所以来、設備の老朽化による修繕箇所が目立っている。

※別紙4参照（『設備・備品等の修繕・修理（センターにて処置）』）

平成29年度においては、療育、支援に関する設備に費用を要しているが、修繕に関しては、例年ほどの額には至っていないが、水道に関する調査が続いている、こちらに対しては予想がつかなかった。（結局30年度に持ち越して多額の費用を要している）

また、ホールの壁の雨漏りによる変色やヒビ・破損が見られ、まだ完全には収まっているので不安である。引き続き状況を確認していきたい。

今後もその他の故障箇所が発見されることは予想されるので、事実が確認できた時には、その都度報告・相談するので協定書に基づき対応して頂きたい。

平成29年度 業務分担表

玉野市児童発達支援センター

H30.3.31

業 務	内 容	担 当 者	備 考
各種会議	サービス会議		
	職員会議(幼児・放デイ)	全員(幼児・放デイ)	
労務管理	勤務表・出勤簿・休暇届・残業申請書		
職場研修	研修担当		
見学・受入れ	利用児・校園職員・関連機関等見学・受入れ		
苦情処理	苦情処理・ヒヤリハット報告・事故報告		
庶務	職員募集(ハローワーク・「福祉のお仕事」事業所マイページ)		
	事務手続き(採用・退職・福利厚生・証明等)		
	情報管理(文書・パソコン)・諸帳簿管理		
	車両管理		
会計	請求業務		
	利用料集金		
	小口現金		
施設管理	施設修繕		
	環境整備・営繕・清掃		
備品管理	備品一覧表・備品購入		
防災管理	消防計画・安全点検		
	避難訓練(火災・地震・不審者)		
健康・衛生管理	健康管理・健康診断等・害虫駆除・		
	感染症対策		
	ごみ収集・マットモップ交換		
給食	給食会議・献立表作成・食物アレルギー等チェック		
親睦会	親睦会名簿・会計		
涉外	関連機関 ・玉野市役所(福祉政策課・就学前教育課) ・玉野市教育委員会 ・支援学校・小中学校・幼稚園保育園関係 ・玉野市障害者総合支援協議会 ・岡山県社会福祉協議会・岡山県知的障害者福祉協会 ・中四国児童通園施設長連絡協議会 ・その他関連機関等		
保護者会	保護者会・役員会・おやじの会・OB会		

日常療育	週番・清掃・片付け・業務日誌・管理確認簿	各職員	
日常療育	プラン・懇談・(家庭訪問)・個人記録・連絡帳 各種検査・ことばの教室	各職員	
おたより	園だより・各種通信	各職員	
就学相談	就学相談・退園相談		
行事計画・運営	年間行事計画表		
	入園式 4/1(土)、卒園・退園式 3/31(土) 入園説明会2/10(土)、3/10(土)		
	療育参観日5/20(土)		
	親子療育(A7/22(土) B7/29(土))	各職員	
	親子療育(合同もちつき大会1/13(土))		
	おでかけ①(A9/13(水)・B9/20(水)) おでかけ②(A10/18(水)・B10/25(水))	各職員	
	自由参観日(8/21(月)～8/26(土)・11/13(月)～11/18(土))	各職員	
	プール(7/3(月)～9/2(土))		
	親子遠足(6/24(土))		
	夏祭り週間(8/7(月)～8/10(木))	各職員	
	スポーツ大会(10/14(土))		
	クリスマス会(12/22(金))		
	療育発表会(2/17(土))		
	お買い物の活動(7/24(月)～7/31(土)) 夏休み		
	プール活動:園庭プール(8/1(火)～8/4(金)) 夏休み		
	プール活動:ウェルポート灘崎(8/4(金)～8/18(金)) 夏休み		
	調理活動(11/21(火)～11/30(木))		
	お出かけ活動(12/25(月)～1/6(土)) 冬休み		
	保護者座談会(1/27(土))		
	支援学校児童保護者勉強会(6/10(土))		
	進学に向けての保護者勉強会(7/22(土))		
保育所等訪問	保・幼・小・中訪問・校園と情報共有		
相談支援	一般相談・計画相談		

別紙3

料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等（平成29年度）

1 管理に関する収支の状況

(1) 収入

項目	金額	備考(内訳など)
児童発達支援	66,947,433	12ヶ月分報酬(福祉介護職員待遇改善加算含む)
放課後等デイサービス	27,459,052	//
保育所等訪問支援	0	//
障害児相談支援	16,579,480	//
日中一時支援	3,028,740	//
給食等提供料	2,269,950	給食・おやつ提供自己負担
収入合計	116,284,655	

(2) 支出

項目	金額	備考(内訳など)
給料手当	76,054,086	従業員給料(賞与を含む)
福利厚生費	838,472	
法定福利費	12,679,155	社会保険料・労働保険料
給食費	9,815,108	食材費及び委託料
保育材料費	1,682,211	遊具及び教材・書籍・画用紙など
日用品費	309,967	洗剤などの日用品
消耗品費	2,299,473	日用品費以外の消耗品及び食器・配膳用品
修繕費	393,672	施設改修、送迎用車両の点検・整備
水道光熱費	1,764,654	
通信・交通費	703,803	
リース料	2,706,826	
図書・研修費	597,593	
車両燃料費	840,489	
その他雑費	1,450,144	
支出合計	112,135,653	
収支差額	4,149,002	

H29年度 設備・備品等の修繕・修理

月	問 題	処 理			内 容
		処理日	金額		
4/8	厨房の雪平鍋破損	センター	4/20	5, 702	TKG共柄厚板雪平鍋3個購入 (綜合厨器株式会社)
9/30	こあら組出入り口引き戸の開閉がしにくい。	センター	11/1	10, 800	建具補修工事(上釣り引戸用ランナー) (株式会社シモデンホーム)
11/31	玄関風除室内側の自動ドアのスイッチを入れると開きっぱなしになる。	センター	1/5	55, 000	風除室内側自動ドア取替え修繕 (株式会社メレック)
11月末	水道料の増加を見ると、水漏れの可能性がある。	センター	2/22~	点検中	給水管漏水に伴う配管改修工事 (有限会社ハチスイ)

【書式例 5-4】

平成 29 年度 指定管理者自己点検結果

点 檢 日	平成 30 年 6 月 20 日 (5 回目)
施 設 名	玉野市児童発達支援センター
所 在 地	玉野市用吉 1186-1
指 定 管 理 者	名称 特定非営利活動法人 玉野つつじねっと 代表者 理事長 間庭 佳代子 住 所
指 定 期 間	平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日 (5 年間)
担 当	玉野市児童発達支援センター 電話 0863-71-0600 E-mail tamano-c@apricot.ocn.ne.jp

評価内容の総括	総合評価
<p>玉野市児童発達支援センター 5 年目を終え、市内における児童発達支援の拠点として、療育面とともに障害児相談支援も軌道に乗せることができた。</p> <p>29 年度玉野市からの委託事業、幼觀察児教室「にじいろ教室」とも連動して、早期の療育体制の流れをより明確にできるようになつた。従来の発達障害支援コーディネーターとの連携もあり、医療、保健、教育等とのつながりを日常的にもちながら、地域において障害児支援の中核として、幼児期から中学生までの義務教育期における支援体制の一応の整備ができた。</p> <p>療育の質の向上に向けては、法人内での事業所間交流を実施することで、様々な発達段階の利用児の支援方法を学んだり、他の専門機関と連携し、年間を通してテーマに沿った合同勉強会を実施したりしながら、職員の力量アップを図っている。</p> <p>また、安全衛生、個人情報の管理等のしくみをつくり、また虐待防止の観点からも、職員に必要とする研修を行いながら一年間運営してきた。</p> <p>行事や療育活動の中に、様々なボランティア（絵本・コンサート・清掃など）の協力をいただいたり、近隣の幼稚園への訪問をしたりして、地域との交流を深めることができた。</p> <p>障害児相談支援事業においても内容の充実が図れるようになり、市内における障害児支援の拠点としての役割を担っている。</p> <p>次年度以降、新たな 5 年間の 1 年目として、また新たな目標をもって玉野市の児童福祉の拠点としての役割を果たしていきたい。</p>	A

■ 「総合評価」の評価基準

- S (優 良) 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A (良 好) 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B (課題含) 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C (要改善) 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業務の実施状況	評価結果
<p>【適切な施設管理の履行】 協定書に従い、適切に施設管理を行った。</p> <p>【法令等の遵守】 法令（児童福祉法、最低基準）を順守して、利用者サービスの向上に努めた。</p> <p>【安全性の確保】 職員に対しては、安全意識の教育を行い、環境整備にも努めた。</p> <p>【財産の適切な管理】 備品は大切に利用し、遊具等の設備投資は必要に応じて行った。</p> <p>【利用状況】 定員は充足し、地域のニーズには十分に対応できた。</p> <p>【コスト削減への方策】 職員教育は継続的に行なった。</p>	A
② サービス向上への取り組み	評価結果
<p>開園5年目となり、センター内外の環境面も整い、療育活動の幅が広がりを見せている。季節の行事においても計画的に取り組め、満足の声を多くいただけている。</p> <p>療育に関しては、職員は内外の研修等に参加し、文書報告や伝達講習をする中で職員全体での共有し研鑽に努めている。</p> <p>特に外部の専門機関との合同勉強会を通して、様々な個別支援の方法や内容についても研修し、個々の子どもの発達及び障害の状況に応じた支援につなげている。</p> <p>保護者会・おやじの会への積極的参加、保護者向けの勉強会実施、またアンケート等により、保護者のニーズの把握に努めている。また、新たに自由参観日を実施して保護者の療育への理解を深めることに努力している。</p> <p>今後も多様な障害のある利用児の保護者に寄り添い、さまざまなニーズに対応しながらサービス向上に努めていきたい。</p>	A
③ 団体の経営状態（経営の健全性）	評価結果
<p>今年度は、感染症に敏感な利用児や通院治療・検査の必要な利用児が多いものの、利用児の欠席が昨年より少なかった。また、曜日の関係で年間稼働日数が多かったこともあり、収支状況は安定的であった。また定員20名のところ、22名までの利用とした。今後のことを考慮して、職員数の増加及び専門職の導入を検討したい。</p> <p>このたび（平成30年）の報酬改定（特に加算関係）における大きな影響は回避できたので不安からは解消された。</p>	A

■「評価結果」の評価基準

- S（優良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。